

## 譲

啓発により、取り組みへの 展示を行っていない各市民

|年度新たに辻堂地区の4小

る。配置状況としては、今

いて聞きたい。

アとの連携などを行って

の市の取り組みと課題につ

助言、また地域ボランティ

学校区に1名を配置し、市

生ごみの発生抑

制

キエ

口

の活

用を周

知

する

理機の活用等があり、周知 品ロス」の削減、コンポス 生ごみの水切りや、食べら 展示も検討している。さら 減量化への取り組みとして、 減量化について聞きたい。 画を策定し、安全で安心な れるのに捨ててしまう「食|に、リサイクルプラザで行 家庭で取り組める生ごみの いるが、分別以外に市民が できる環境都市を目指して 暮らしと豊かな環境を実感 (民主・無所属クラブ) 生ごみの発生抑制、 本市では環境基本計 るほか、5階ラウンジでの |階ラウンジでの美化・リサ 展示販売も行う。また、長 エーロの展示を予定してい |知を行う。また、本庁舎1 | 答弁 | 庁舎内では、デジタ いて、市の考えを聞きたい。 われるエコエコ夏祭りでは、 イクル推進ポスター展でキ ルサイネージを利用した周 協力をお願いしている。 質問 キエーロの周知につ 明治、片瀬以外の常設 センターに対しても、再度

生ごみの減量にキエーロを活用 =リサイクル

の構造的な問題を捉えた

持続可能なものとなるよう

康被害への配慮として、学 |香りが強い洗剤等による健

校給食の児童用白衣の洗濯

保育所での処分を 使用済み紙おむつ

す本制度が、将来にわたり

|全国市長会や県と連携し、|市せっけん推進協議会等と

|国民皆保険制度の根幹をな | 共催で実施している。また、

バイスを行っていく。 消費者に対し、適切なアド る。香害の情報収集に努め、 |機関等への紹介も行ってい

|認識している。引き続き、|市消費生活センターが藤沢

香害の啓発は、藤沢

努めていく。

ベランダ de キエーロ

×

会等が国へ1兆円規模の公

齢構成が高いことや、所得

市としても、加入者の年

|を求めるポスターやリーフ 認識されている。香料自粛

| 整し、検討していく。

担軽減といったメリットが

ある。

持ち帰りについて早

レット等による注意喚起の

水準の低い層が多く、保険|実施や、相談窓口設置の取

|活センターがあり、

消費者

|市の見解を聞きたい。

急に改善すべきと考えるが、

談窓口としては、市消費生

消費生活全般に関する相

り組みについて、市及び教

| 育委員会の考えを聞きたい。

|ともに専門知識を持つ関係

|全園児分の使用済み紙おむ

答弁 公立保育所において

費用対効果等を検証した上 おり、その結果をもとに、

保育所での処分につい

要因別に細分した。よりリ|施計画を策定していく。

トラブルの相談を受けると

(日本共産党藤沢市議会議員団) 平成26年に全国知事

けていくとしている。

財政基盤を国の責任で確立

吉旨の提言をしている。ま

谷津 英美

(民主・無所属クラブ) 過剰な香りにより、

香料自粛を注意喚起 香害に関する啓発

身だしなみマナーとして職

公共施設の来庁者に対する

について保護者への周知や、

西

智

員への周知を行っていく。

は全園、使用済み紙おむつ

本市の公立保育所で

(市民クラブ藤沢)

一す場合には、

仁、神奈川県でも安定した

するよう、引き続き働きか | す香害が、社会問題として | 県等の関係機関と連携、

|体調不良や病気を引き起こ

等の対応については、国や

た場合、保護者の負担軽減

保育所で紙おむつを処分し

器の搬出や定期的な容器の

レットや注意喚起ポスター

すぎる保険料等の全国的な 費投入を求めているが、高

国民健康保険制度の構造的

健康保険制度が構造的な問

全確保に向けた取り組みの 等における子どもたちの安 故の報道が続く中、通学路 |質問||登下校時の事件・事 北橋 節男 ボランティアと連携 通学路の安全確保 (市民クラブ藤沢) 持続可能となるよ 問題について、 次の担い手確保が課題とな リーダーの高齢化が進み、 の配置が完了した。 方策を講じるよう求めたも うな、抜本的な財政支援の 上で、協会けんぽとの保険 ので、全国市長会も同様の 料負担の格差を縮少するよ 健康保険制度における財政 への提言については、国民 聞きたい。 **合弁** 全国知事会からの国

市の認識を | 題を抱えている実態は十分

展示の調整を行っていく。 内10地区の全35小学校区へ

近年はスクールガード・

|重要性が増している。本市 | を強化し、子どもの安全確 | きれないという課題がある | きたい。

そして安全確保対策の強化 のスクールガード・リーダ | 保に向けた効果的な体制整 | が、現在、企業主導型保育 に向けた課題や今後の方向 の役割と現在の配置状況、 備に努めていく。

病児保育施設の設置 療 機関

と連 携

性について聞きたい。

路の見守りや巡回指導、学 | えており、本市にも病後児 登下校時間を中心に、通学 校安全に関する教職員への 保育施設同様に病児保育施け、 |設が必要と考えるが、現在 | 要であるため、今後も藤沢 預けて働く共働き世帯がふ 保育所等に子どもを (ふじさわ湘風会)

担っており、各小学校区の

ーダーは、主に警察OBが

スクールガード・リ

|科クリニックの診療時間外 連携による実施を予定して いる。実施に当たり、小児 取り組む必要があると考え 者の運転免許証の自主返納 通事故が連日報道され、社 高齢者が関係する交

|全について関係者との連携 |園だけではニーズに対応し|**るが、今後の取り組みを聞** な人材確保も視野に入れる |後の受け入れ態勢等の課題| について、市として早急に 地域の実情に合わせ、新た|児保育の知識等の習得、病 っており、今後は、学校や 等の対応、保育士による病 会問題となっている。高齢

令和3年度に新園舎へ移転 する藤が岡保育園において、 小児科クリニックとの公民 答弁病児保育については、

制度周知で事故防止 高齢者の免許証返納

(藤沢市公明党)

討している事業者がある。 事業において病児保育を検

医療機関併設型病児保育の 向けた相談を受けており、 等でも実施ができるため、 市内の診療所からも実施に 本市では、高齢者に

ストと、公共交通機関等の

し、免許返納につながる働 移動手段や宅配サービス等 を使用した場合のコストを 比較できるチラシ等を作成

| 庁内関係部局と情報共有を |市民の安全にもつながるこ 当事者だけの問題ではなく とから、警察等関係機関や |交通事故防止の取り組みは、 免許返納を含む高齢者の

きかけをしていく。

市医師会の協力を得ながら 病児保育の円滑な実施に向 検討を併せて行っている。|ドライバースクール事業を 医療機関との連携が重 について説明していく。 業回数を年2回から年5回 実施しており、今年度は事 にふやし、免許の自主返納 |自身の運転技術や認知機能

進めていく。

武藤 正人

必要がある。また、学校安 がある。また、藤が岡保育

連携していく。

和彦

重要と考えている。そのた |制度を周知していくことが |を認識してもらい、不安等 |め、高齢者の運転技術の再 質問

確認を目的にシルバー四輪

併せて、自動車維持のコ | ていく必要があると考える ことで避難者に安心感を与 えるというメリットもある 明設備を設置することで、 ため、多くの学校に設置し 害発生時に明かりを照らす 会がふえるだけでなく、災 市民がスポーツに親しむ機

|神奈川県では年収約590

万円未満の世帯は、実質無

償化となる学費補助金の給

|付金が給付されている。ま | 援として、高校生等奨学給 の授業料以外の教育費の支 課税世帯には、教科書費等

備の設置については、スポ ーツだけでなく、災害発生 が、市の見解を聞きたい。 校庭への夜間照明設

|防団の訓練などに有効であ | 時の避難場所としての活用 ると認識している。 を初め、地元のお祭りや消

する校庭の形状・面積や駐 たっては、競技種目に対応 夜間照明設備の設置に当

|員会の見解を聞きたい。 等学校への就学支援の実施 制度を抜本的に拡充し、高 える子どもや若者たち全て も含め、経済的に困難を抱 質問 本市の給付型奨学金

輪・駐車場スペースの問題、 また、近隣住民の生活環境

**育弁** 現在、

|密封できる専用の容器が必 | 衛生面の観点から施設内に 要となる。また、週2回の つを処分する場合、 、臭気や て検討していく。

低い自己肯定感が課題 子どもの実態 調 查

香害に関する啓発リーフ を保護者が持ち帰っている。 このほか、収集における容 |等、費用面での課題がある。 収集を委託する必要がある 要があり、収集回数をふや 積庫を園舎外に設置する必 可燃物の収集日まで紙おむ つを保管するためのごみ集 民間事業者に の自己肯定感が著しく低い 庭の生活実態調査」の分析 に用いた潜在的養育困難層 質問 原田 (※) の分析結果と、調査 「子どもと子育て家 (アクティブ藤沢)

|や感染症予防、保育士の負| 業務がふえるという課題も |洗浄など、保育士の新たな |み紙おむつの量を調査して 日に出る使用済 の生活実態調査の結果分析 聞きたい。 に当たり、世帯の状況を3

養育に影響が出るリスクの|ても課題の一つと捉え、実 的養育困難層は、子どもの つに分類し、このうち潜在 題としており、本市におい

設置について検 校庭の夜間照明設備 討

|のための高等学校等就学支

|援金が給付され、住民税非

への影響等、さまざまな課 | いる教育費負担の軽減策と

学校の校庭に夜間照 (ふじさわ湘風会) を研究し、設置の可能性に 果的な管理運営の手法、ニーた、私立高校については、 市の事例を参考としながら、 題を把握するとともに、他 む必要があると考えている。|満の世帯には、授業料支援 ーズに合った費用対効果等 地域における合意形成や効 振興協議会に必要性等のア 題があるため慎重に取り組 して、年収約910万円未 ついて検討していく。 ンケートを行い、現状と課 今後は、各地区社会体育

抜本的な拡充を 給付型奨学金制 度

付も行われている。

そのため、本市としては、

味村 耕太郎 (日本共産党藤沢市議会議員団)

> 給付型奨学金制度について、 高等学校の就学を支援する

が必要と考えるが、教育委 | 捗状況や財政状況を踏まえ |の手に届くものにすること||市の給付型奨学金事業の進 |国や県の動向を注視し、本 始まったことから、今後の のと捉えている。 現段階では充足しているも 給付型奨学金制度の拡充が 国の高等教育の無償化や

国が実施して一て検討していく。 スクが高い「子どもの養育

た上で、制度の拡充につ

ことについて、市の評価を **結果で示された子どもたち** | これらの世帯に該当する割 合はむしろ少なかった。 |同じ傾向となっているが、 |代同居| の世帯とおおむね 別における「ひとり親2世 |層」の世帯や、世帯タイプ 生活困難層における「困窮 他の分類で最も厳しい状況 帯の分析結果については、 の要因」層に分類された世 に置かれているとみられる、 また、本調査では、小中

宮弁 子どもと子育て家庭|より10%近く低い結果が示 |子どもの自己肯定感が諸外 されている。国では日本の 国と比較して低いことを課 学生の自己肯定感が東京都

(※)潜在的養育困難層…平成 30 年度に市が実施した「子どもと子育て家庭の生活実態調査」の中で、養育リスクが高いと考えられる回答をした世帯として、 独自に設定した分類。